

第5章

計画に係る

評価指標

第5章 計画に係る評価指標

1 評価指標 1

自殺総合対策大綱は、「令和8（2026）年までに自殺死亡率（※3）を平成27（2015）年と比べて30%以上減少させる」という目標を掲げています。

自殺総合対策大綱の数値目標と整合性を図り、本市の令和6（2024）年の自殺死亡率を平成27（2015）年と比較し25%減少させ、14.2を目標とします。

		平成27年 (2015)	令和4年 (2022)	令和6年 (2024)	令和8年 (2026)
全国	自殺死亡率	18.5	14.6	—	13.0以下
	対2015年比	100%	78.9%	—	70%
栃木県	自殺死亡率	19.5	14.6		
	対2015年比	100%	74.9%		
鹿沼市	自殺死亡率	18.9	—	14.2	
	対2015年比	100%	—	75%	

※3 自殺死亡率：人口10万人あたりの自殺者数を表しています。

$$\text{自殺死亡率} = \frac{\text{自殺者数}}{\text{人口}} \times 10\text{万}$$

2 評価指標 2

第3期健康増進計画健康かぬま21の「こころの健康」における数値目標です。

	平成30年 結果	令和5年 目標値（※4）
大いにストレスを感じる人を減らす	17.6%	16.0%以下

※4 令和5年 目標値：

令和5年に実施する健康増進計画「健康かぬま21」アンケート調査結果の数値を目標値としています。栃木県健康増進計画の数値目標を参考に、平成30年結果の1割減を目標としています。

3 評価指標3 (再掲)

重点施策の各取組項目における数値目標です。

評価指標		自殺対策の数値目標	
(1) 若者・働き世代の自殺対策の推進	産後1ヶ月健診でのエジンバラ産後うつ病質問票の高得点者の割合	平成30年度 実績	令和6年度 目標値 (※5)
		8.3%	7%以下
	思春期健康教育を5年間で市内の小中学校全校で実施	平成30年度 実績	令和2～6年度 目標値 (※6)
		小学校7校 中学校4校	市内の全小中学校に実施 (小学校24校・中学校10校)
	相談しない人の割合(20-30代)	平成30年 結果	令和5年 目標値 (※4)
		23.9%	22.0%以下
(2) 高齢世代の自殺対策の推進	相談しない人の割合(60-70代)	平成30年 結果	令和5年 目標値 (※4)
		18.4%	17.0%以下
	高齢者の生活に係る総合的な相談の件数	平成30年度 実績	令和2～6年度 目標値 (※6)
		6,602件	累計30,500件
(3) 経済・生活問題を抱える人の自殺対策の推進	ストレスの原因で「経済問題」と回答する人の割合	平成30年 結果	令和5年 目標値 (※4)
		13.2%	12.0%以下
	生活困窮に係る相談の件数	平成30年度 実績	令和2～6年度 目標値 (※6)
		165件	累計1,100件
(4) 共通の取組	ゲートキーパーの養成	平成30年度 実績	令和2～6年度 目標値 (※6)
		72人	累計1,000人

※5 令和6年度 目標値：

鹿沼市自殺対策計画最終年度時点の数値を目標値としています。平成30年度実績の1割減を目標としています。

※6 令和2～6年度 目標値：

鹿沼市自殺対策計画期間(令和2～6年度)の累計値を目標値としています。